

G-SCAN Z2 Flagship

取扱説明書

はじめに

この度はG-SCAN Z2 Flagshipをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書には、本製品をご使用いただくにあたって必要な情報が記載されております。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

株式会社 インターサポート

目次

- はじめに
- 製品仕様
- 構成部品
- 各部の名称
- 車両と接続する
- ホーム画面について
- 車両診断について
- アップデート
- 故障かな？と思ったら

製品の登録方法

本製品をご利用いただくには事前の「ユーザー登録」が必要です。

製品に同梱しているご案内ブック内のユーザー登録手順書をご確認ください。

ユーザー登録作業手順

本製品をご利用いただくには必ず「ユーザー登録」が必要です

本体をインターネットに接続してください。本機は有線、Wi-Fi どちらでも接続可能です。

1 本体設定からシリアル番号、セキュリティコードを2種控えてください。



ホーム画面にある「本体設定」よりシリアル番号、セキュリティコード（シリアルナンバーの後のカッコ内に記載があります）を控えてください。

2 車両診断から「製品登録」または「ユーザー登録」のリンクをクリック。



「車両診断」を選択後、どのメーカーでも結構なのでメーカーを選択し「製品登録」または「ユーザー登録」を選択。

既にユーザー登録している製品をお持ちの場合



「ユーザー ID」「パスワード」を入力し「ログイン」。「ユーザー登録」よりお進みください

【製品の追加登録について】

ログイン後、既にお持ちの製品情報が表示されます左上にある「製品の追加登録はこちら」を選択。

予め控えておいた「シリアルナンバー」「セキュリティコード」を入力し「確認」ボタンを選択。

登録完了後、ソフトウェアアップデート実施いただくと使用可能となります。

新規登録の場合

1 ユーザー登録

以下の項目を入力

- 予め控えた2種のシリアルナンバー、セキュリティコード
- 新たに設定するもの ユーザーID、パスワード、メールアドレス

2

登録したメールアドレス宛に本登録用の URL が送られますので URL を選択。

3

必要事項を入力し「確認」ボタンを選択。

製品登録内容に問題がなければ「登録」ボタンを選択。

保険をお申込みいただいている場合、規約が表示されますので「規約に同意する」にチェックを入れてからでないと登録できません。

※スタンダードをご購入いただいている場合、必ず付いております。

4

登録完了後、反映には約 30 分程度のお時間をいただいております。

※サーバーの状況により、最大 1 時間かかる場合がございます。

所定の時間経過後に製品のアップデートをして製品登録を完了させてください。

製品仕様

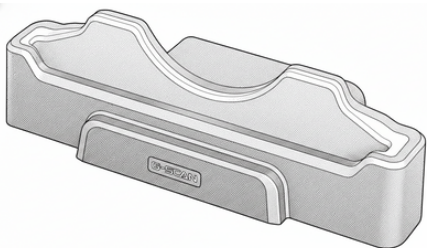
タブレット本体仕様	
OS	Android 15
CPU	2.2GHz
メモリー	8GB RAM
ストレージ	フラッシュメモリ：128GB
ディスプレイ	10.95インチ フルHD（1920×1200） / 静電容量方式タッチスクリーン
ワイヤレス	Wi-Fi 802.11 a/b/g/n
センサー	加速度センサー、ジャイロセンサー、近接センサー、照度センサー
Bluetooth	Bluetooth 5.2 (Class 2)
インターフェース	ZVCI 2専用USB Type-C（ロック機構付き・充電対応） USBホスト（Type-C）×1（通信専用） USBホスト（Type-C）×1（通信および充電対応） microSDXC カード リーダー HDMI Mini RJ45 イーサネット バーコードスキャン
カメラ	前面：8MP、背面：13MP（オートフォーカス・LEDフラッシュライト）
オーディオ	スピーカー、マイク
サイズ	307mm × 175mm × 30mm
質量	950g（ハンドストラップ込）

ZVC12 本体仕様	
CPU	Cortex-M4、180MHz
メモリー	フラッシュメモリー2MB / SRAM 512kB
電源動作範囲	8 ～ 32V
動作温度 / 保管温度	-10 ～ 50℃ / -30 ～ 70℃
本体寸法	170mm × 124mm × 32mm
質量	320g
電源入力	DLCメインケーブル、DCジャック
外部ポート	USB Type-C (特殊ロックタイプ)、RJ45
ネットワーク	RJ45 イーサネット、Bluetooth 5.0

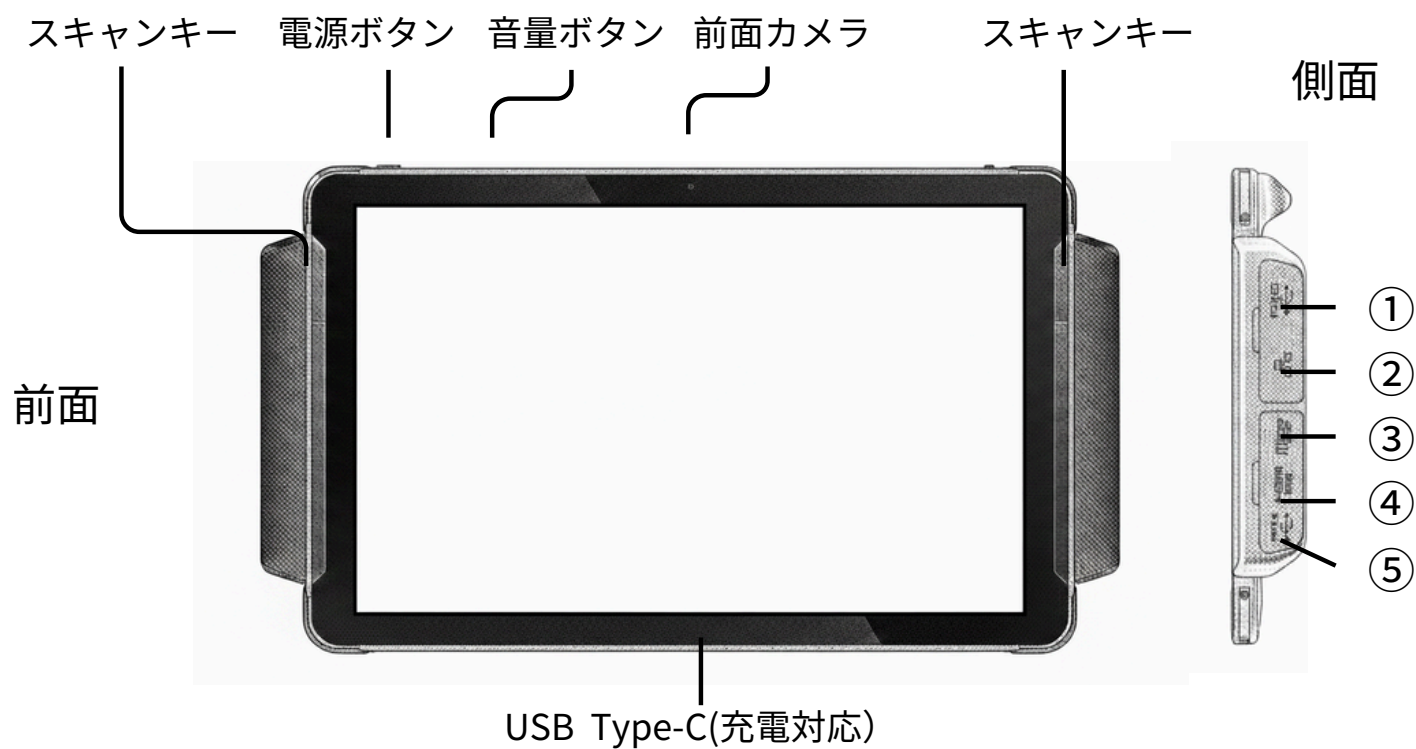
車両通信規格	
ISO-11898	ISO 13400 ISO-11519 ISO-14229 ISO-14230 ISO-15031-5
ISO-15765	SAE-J1850 (PWM/VPW) ISO-9141 ISO-9141-CARB
SAE-J1587	SAE-J1708 SAE-J1979

構成部品

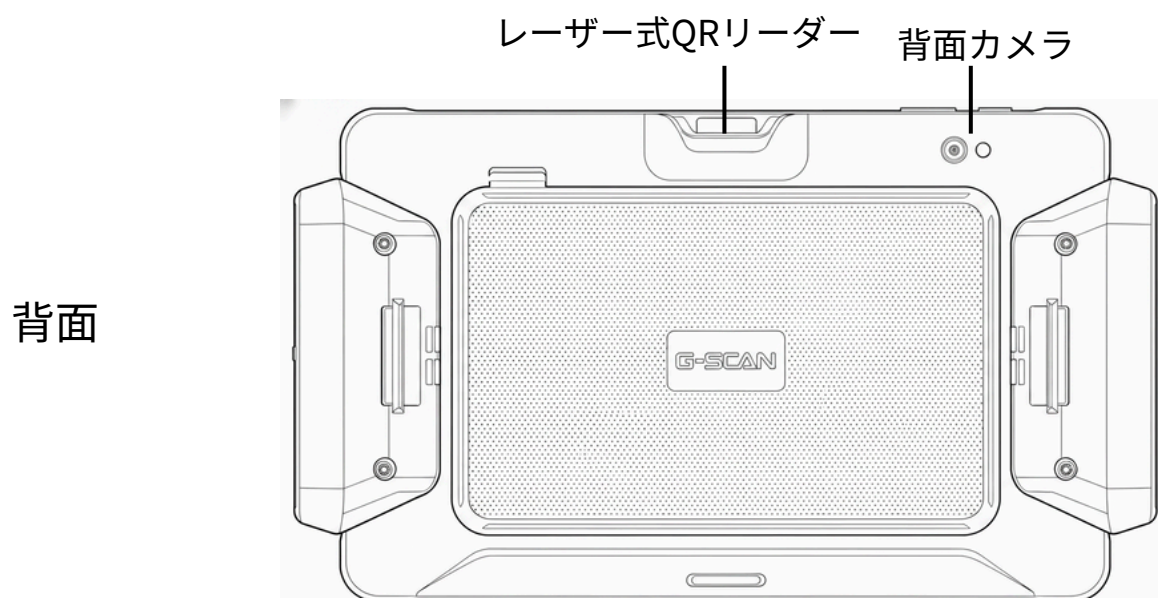
基本付属品

部品図	部品名
	<p>部品名：Z2 Flagshipタブレット</p>
	<p>部品名：Z2 Flagship用ACアダプター</p> <p>用途：Z2 Flagshipタブレットを充電する際に使用します。</p>
	<p>部品名：ZVC12</p> <p>用途：車両のOBD-IIコネクタに接続し車両診断する際に使用します。</p>
	<p>部品名：充電スタンド</p> <p>用途：充電の際に使用できる専用スタンドです。</p>
●各種ケーブル	<p>部品名：DLCメインケーブル</p> <p>用途：ZVC12に装着、車両と接続時に使用します。</p>
	<p>部品名：USBケーブル（ロック機構付き）</p> <p>用途：Z2 FlagshipタブレットとZVC12を有線接続する際に使用します。</p>
	<p>部品名：LANケーブル</p> <p>用途：DoIP車両接続時に使用します。</p>

各部の名称（Z2 Flagshipタブレット）

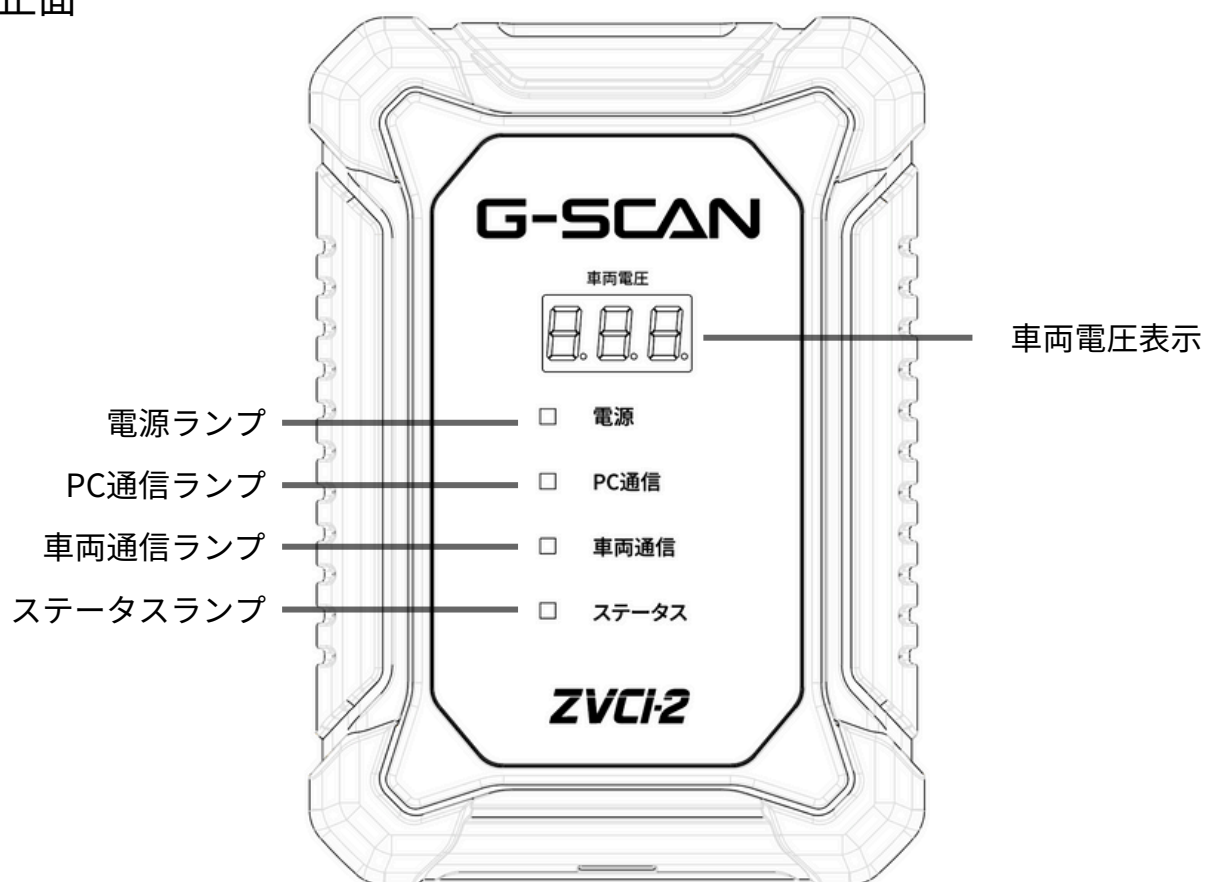


側面	
①	ZVCI 2専用USB Type-C（ロック機構付き・充電対応）
②	LANポート
③	microSDカードスロット
④	HDMI Mini
⑤	USB Type-C



各部の名称（ZVCI2 正面）

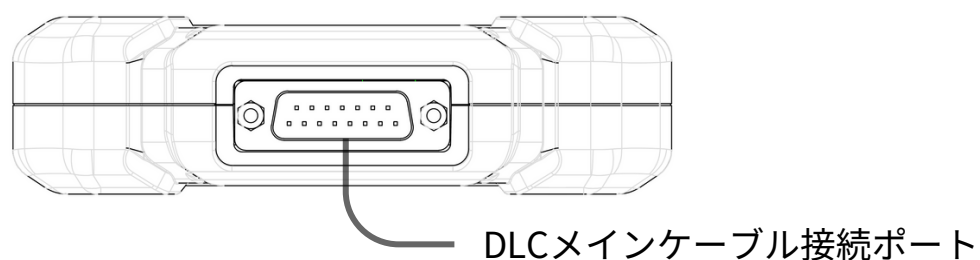
正面



各部の名称	機能
電源ランプ	電源ON状態：緑色点灯
PC通信ランプ	無線通信時：青色点滅、有線接続時：緑色点滅
車両通信ランプ	初期通信時：水色点滅、通信確立時：緑色点滅
ステータスランプ	接続時：緑色点滅、異常発生時：赤色点灯 ファームウェアアップデート時：黄色点灯 J2534モード時：緑色点滅
車両電圧	接続した車両のバッテリー電圧を表示されます。

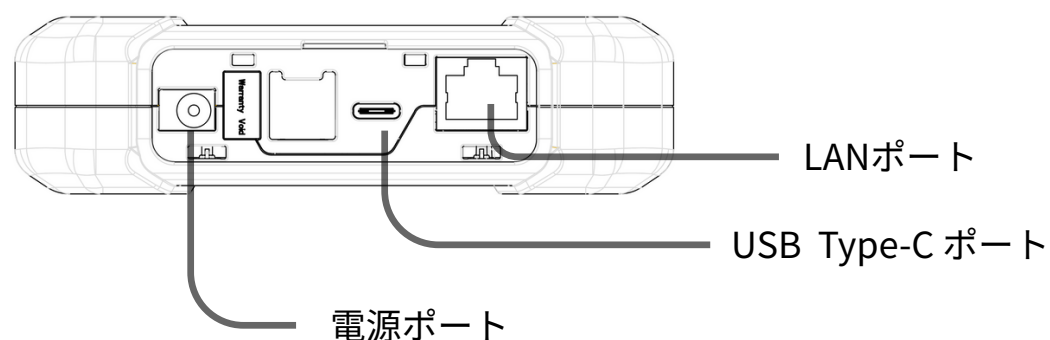
各部の名称（ZVCI2 上側、下側）

上側



各部の名称	機能
DLCケーブル接続ポート	車両と通信するためのDLCメインケーブルを接続します。

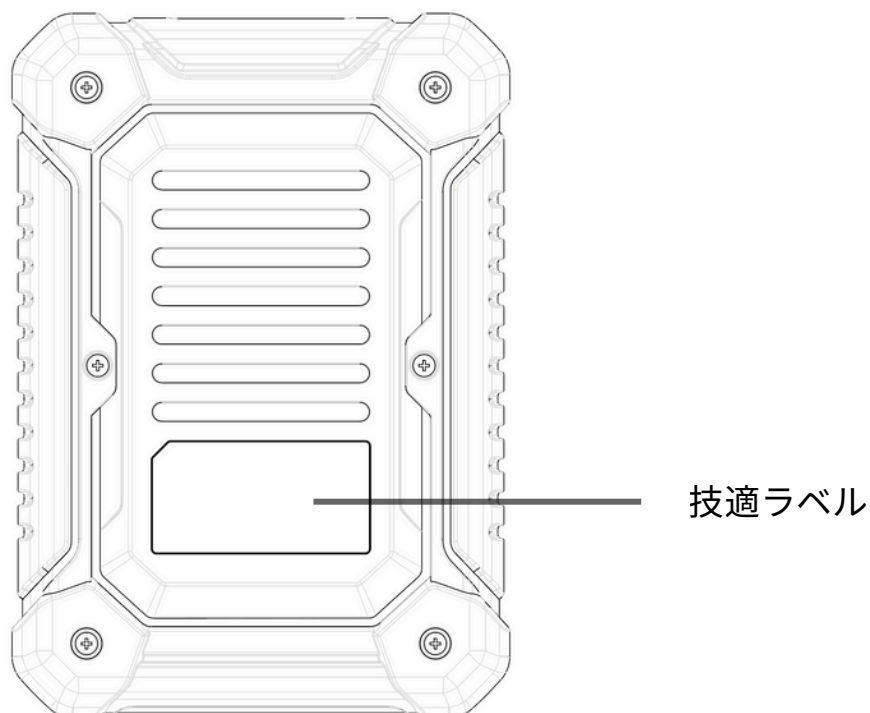
下側



各部の名称	機能
電源ポート	電源接続時に使用します。 【OBD検査時の取扱】 検査中は本ポートから給電をおこなわないでください。 必ずカバーを閉めるか、専用の保護キャップを装着してください。
USB Type-C ポート	Z2 FlagshipタブレットとのUSB接続時に使用します。
LANポート	DoIP車両接続時に使用します。 【OBD検査時の取扱】 本ポートを使用しない場合、必ずカバーを閉めるか、 専用の保護キャップを装着してください。

各部の名称（ZVCI2 裏面）

裏側



各部の名称	機能
技適ラベル	シリアルNo.（SD～）や技適のマークが記載されています。

車両と接続する

車両診断をおこなうには、ZVCi2を車両側の診断コネクタに接続してください。

診断コネクタから電源を供給する

1. ZVCi2を車両側の診断コネクタに接続します。

イグニッションキーがオフであっても、診断コネクタから電源が供給されます。
(車両と通信するにはイグニッションキーをオンにする必要があります)

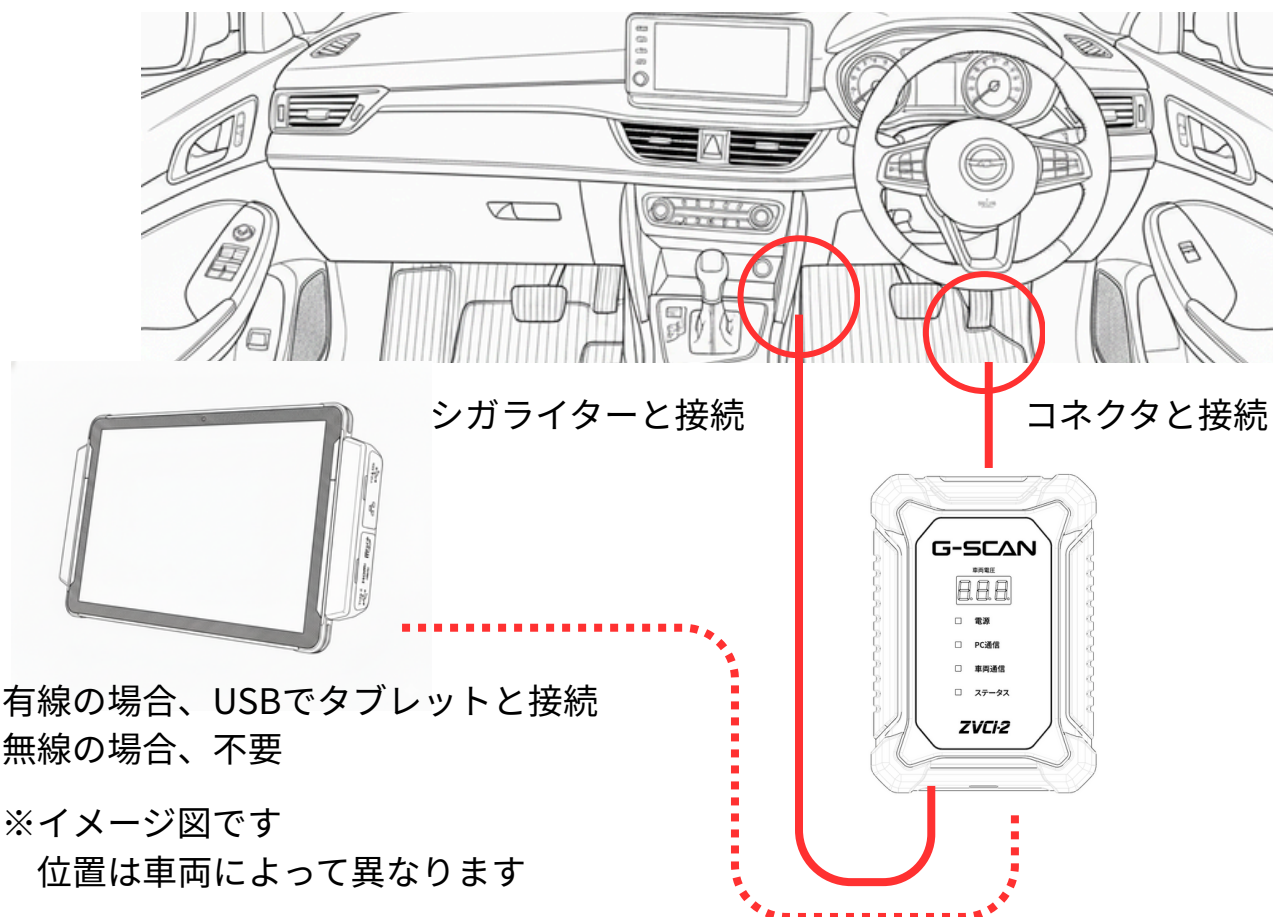
2. OBD-II / E-OBD / J-OBD-IIに準拠した車両は、診断コネクタから電源を供給するように設計されています。車両側の診断コネクタから電源が供給されない場合、車両のシガライターソケットから電源を供給してください。

シガライターソケットから電源を供給する ※シガライターケーブルはオプション品です

1. シガライターケーブルをZVCi2の電源ポートに接続してください。

2. シガライターケーブルを車両側シガーソケットに挿入します。

イグニッションキーをACCまたはオンの位置にすると、ZVCi2に電源が供給されます。



ホーム画面について



No.	機能
①	車両診断を開始します
②	エーミングやブレーキエア抜きなどの作業サポート選択にすすみます
③	整備サポートサービス「G-SUPPORT」のログイン画面が表示されます ※インターネット接続が必要になります
④	過去に作成した「診断レポート」の一覧が表示され編集や印刷を行えます
⑤	車両情報や対応システムのアップデートを行います
⑥	ZVC12をJ2534モードに切り替えます
⑦	言語設定（日本語・英語）の切り替えを行います
⑧	本体などに不具合が発生した際に弊社から遠隔操作を行なう機能です ※インターネット接続が必要になります
⑨	車両と通信した記録を確認、及び送信する機能です ※インターネット接続が必要になります
⑩	車両診断時に保存した各種データの確認を行えます
⑪	リンク集など便利機能画面にすすみます
⑫	ソフトウェアのバージョン情報の確認やその他機能の設定を行えます

車両診断について

車両診断について

「車両診断」を選択すると、自己診断、データ表示、アクティブテスト、作業サポートなどの機能を実施できます。



メーカー選択

「車両診断」を選択すると、対応している自動車メーカーが一覧で表示されます。通信した履歴順にメーカーが表示されます。



二次元コード読み取り

自動車検査証（車検証）の右下に記載されたQRを読み取り車種選択を自動で行なう機能です。

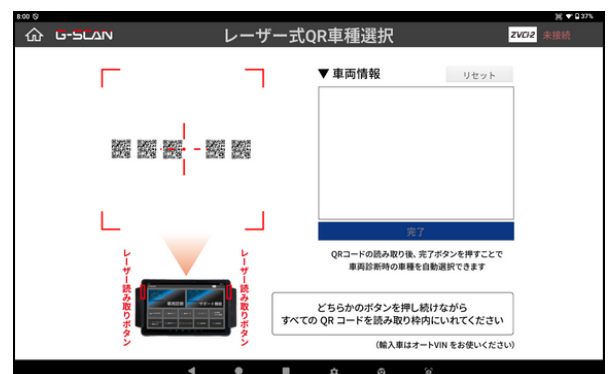
1) カテゴリーを選択



2) レーザー式QR車種選択を選択



3) スキャンキーを押しながらQRコードを読み取る



4) 車両情報が表示されます

※ 過給機の有無により複数表示される場合があります

アップデート

アップデート

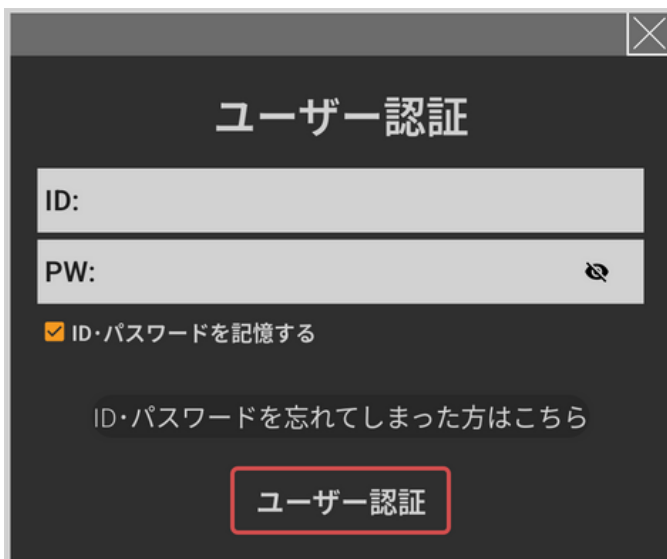
インターネットを利用して、アップデートサーバーから更新ファイルをダウンロードします。

※アップデートには国産乗用車、トラック・バス、輸入乗用車のいずれかが有効期限内である必要があります。

1) ホーム画面の「アップデート」を選択します。



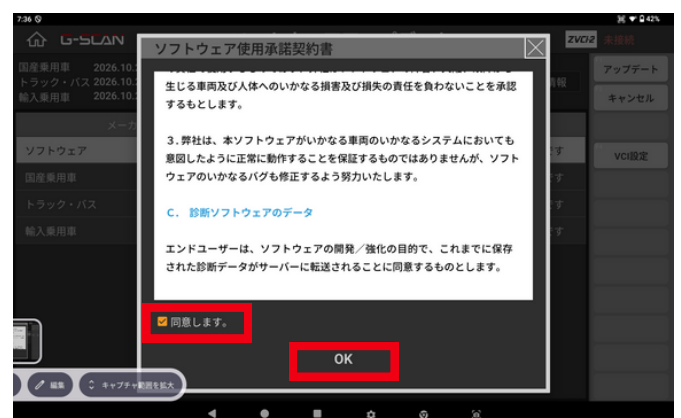
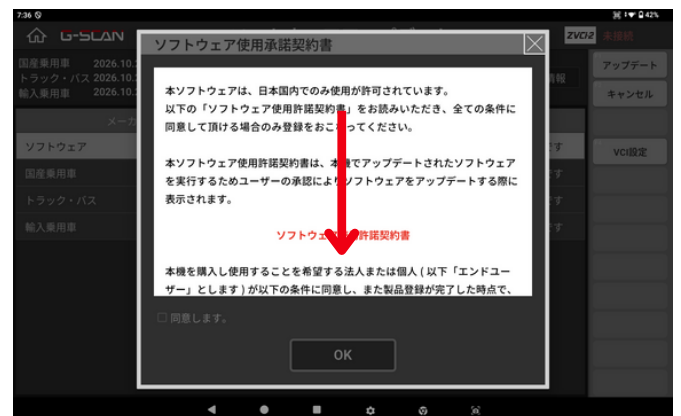
2) ユーザー認証をしてください
ユーザーID、パスワードを入力して
ユーザー認証をしてください。



3) アップデートを選択



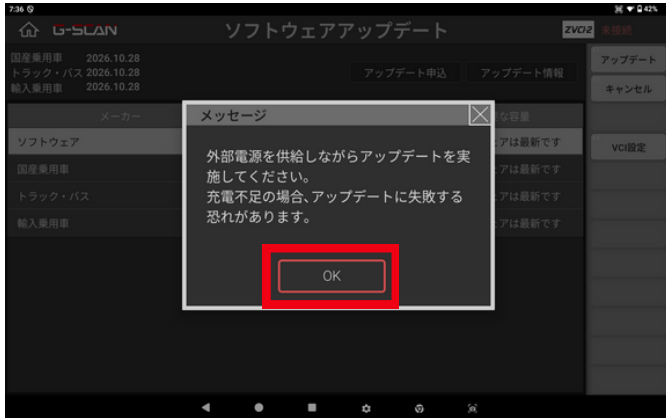
4) ソフトウェア使用承諾契約書
下までスクロールして、「同意します。」に
チェックをいれて「OK」を選択してください。



アップデート

5) 外部電源を供給

外部電源を供給して [OK] を選択してください。



6) アップデート開始

アップデートが終了すると診断ソフトが再起動します。



故障かな？と思ったら

原因と処置要領	原因と処置要領
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体に内蔵されているバッテリーの電池残量が少なくなっている可能性があります。付属のACアダプターに接続して充電をおこなってください。
画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源が切れている、またはスリープになっている可能性があります。電源ボタンを押してください。 ● 本体に内蔵されているバッテリーの電池レベルが少ない可能性があります。 ● バッテリーの充電を行ってください。
Wi-Fi(無線LAN)に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ルーターとの距離が離れすぎている可能性があります。近くでお試してください。 ● ルーターの電源がオフになっていないかご確認ください。 ● Wi-Fiに接続する際のネットワーク名（SSID）、セキュリティキーに誤りがないかご確認ください。
タッチパネルが正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の画面に汚れ、ゴミなどが付着していないか確認してください。 ● 汚れやゴミが付着していると誤作動の原因になりますので、電源を切ってから柔らかい布でよく拭取ってから使用してください。
ZVCI2と接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体設定の画面よりZVCIとペアリングされているか確認してください。 ● ペアリング済みの場合、一度ペアリングを解除し再接続を実行してください。
通信異常と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● ZVCI2と車両の接続を確認してください。 ● イグニッションキーがONの状態になっているか確認してください。 ● バッテリーの電圧を確認してください。 ● 通信しようとしている車両・システムが対応車種/システムに含まれているか確認してください。 ● 選択したシステムが車両に搭載されているか確認してください。 ● 診断する車両が正しく選択されているか確認してください。

その他の症状、エラーメッセージについてのお問い合わせは、

ZVCI2に記載されているシリアルナンバーをご確認の上、製品保守センターまでご連絡ください。

● 製品に関する問い合わせ先

株式会社インターサポート 製品保守センター

Tel 050-3802-4235

受付時間 10:00～17:00 (祝日を除く 月～金)

<https://g-scan.jp/after-support/maintenance>